

この春、帰ってきたサボローに注意！ 明光義塾新テレビCM 1月14日(土)より放映開始

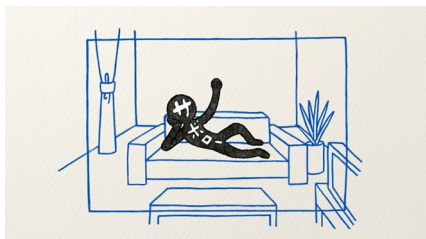
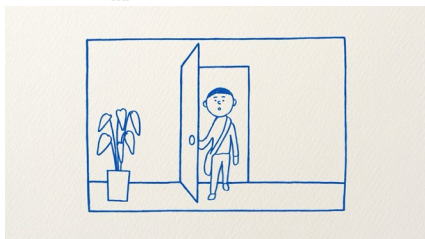
個別指導の学習塾「明光義塾」を全国展開する株式会社明光ネットワークジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山下 一仁）は、2023年1月14日（土）より、明光義塾のオリジナルキャラクター「サボロー」を起用した新テレビCMの放映を開始いたします。

2023年1月14日、明光義塾のオリジナルキャラクター「サボロー」が帰ってきます。「サボロー」は、明光義塾のコンセプトである“YDK（やれば・できる・子）”のヒーロー役として2014年に誕生しました。勉強を邪魔しにくる困りもののはずが、憎らしいけど、愛らしい言動で人気者になり、オリジナルグッズやフィギュア、書籍化など大きな話題となりました。

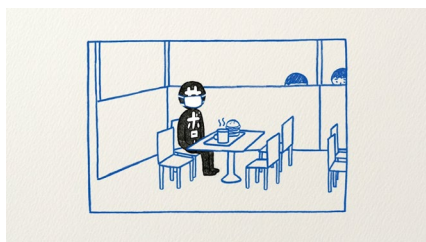
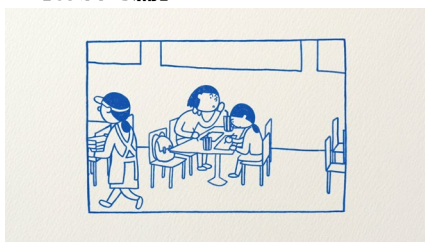
今回のCMは、【復活篇】【お店で篇】【ニュース篇】の3バージョン。家やカフェ、ニュースなどの様々な場面で子どもたちがサボローを目撃します。コミカルに描かれた、サボローと子どもたちの久しぶりの出会いをお楽しみください。

■新テレビCM 各シーン

【復活篇】



【お店で篇】



【ニュース篇】



■新テレビCM概要

秒数：15秒

放映期間：2023年1月14日（土）～4月14日（金）

放送地域：全国

視聴ページ：<https://www.meikogijuku.jp/lp/lp04395/>



サボローの特徴

- ・勉強中、ふとした拍子に突然現れる。
- ・あの手この手を使って勉強をさぼらせようとする。
- ・勉強の邪魔をしたり、誘惑する目的で、マンガ、お菓子、ゲームなどを所持している。
- ・人の心のスキに入り込むのがうまい。
- ・要領がいい、ちゃっかりもの。
- ・友だちが大好きで、さみしがりや。

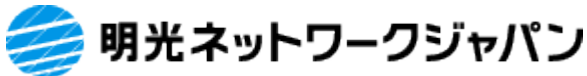
明光義塾の“YDK（やれば・できる・子）”とは

“YDK（やれば・できる・子）”は、2014年から明光義塾が掲げるコンセプトです。保護者を対象とした市場調査では、「自分の子どもはやればできると思うか」という質問に対して、8割以上が「はい」と回答しました。「自分の子はやればできる」という多くの保護者の潜在的な想いを汲み取り、明光義塾はそれに応えるべく「やればできる子」になるようサポートしています。



■株式会社明光ネットワークジャパン（<https://www.meikonet.co.jp>）

事業内容：企業としてPurpose（パーパス：存在意義）を“「やればできる」の記憶をつくる”、Visionを“「Bright Light for the Future」人の可能性をひらく企業グループとなり、輝く未来を実現する”と掲げ、個別指導塾「明光義塾」を始め、様々な教育サービスを運営・フランチャイズ展開をしています。



※プレスリリースに掲載されている内容、仕様、サービス、お問い合わせ先、その他の情報等は発表時点の情報となります。その後予告なく変更となる場合がございますので、ご了承ください。

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社明光ネットワークジャパン
明光義塾事業本部 プロモーション部 担当：五十嵐
E-MAIL：meiko-pr@meikonetwork.jp